

## テーマ

- 「ひらいている家、ひきうける家」

## 課題主旨

「住まい」はまちを作る。しかし「住まい」だけではまちは成り立たない。「住まい」はたくさんのもに助けられて「住まい」として何とか生きている。公園、店、幼稚園・保育園、老人ホーム、クリニック、森、みち、公民館、図書館、考えるときりがない。これらの「ありがたいもの」に助けられ「住まい」はやっと何とか「住まい」になっている。よく考えると「住まい」の中にもこうした「助けてくれる」場所は小さいながらもあ。というか「住まい」はこうした場所が集まってできているということに気づくだろう。書斎は図書館のような場所だし、食卓はレストランのような場所、庭は公園のような場所かもしれない。ただこれらはこの「住まい」に住んでいる人がもっぱら占有するだけだ。それだからそこは小さいかもしれないし、ひょっとしたらないかもしれない。ひと昔前の大邸宅を除けば。「住まい」にある場所をちょっとみんなに「ひらく」、ちょっと「拡大してひらく」。ちょっとみんなのためになにかを「ひきうける」、そんなことがあるとそこはみんなにとってありがたい場所になる。そしてその「住まい」はみんなにとってありがたい「住まい」になる。こうした「ありがたい住まい」「ひきうける住まい」がたくさんあれば住宅地はただの住宅地ではない、人々にとって「ありがたい住宅地」になるのではないだろうか。君たちの身近な住宅地をこうした住宅地にするための工夫を考えてほしい。最近、若い建築家たちの興味深いまちづくりの実践が数々紹介されている。君たちの独創性に満ちた提案がたくさん寄せられることを期待します。

## 審査員

## 審査

原則として戸建ての住宅とすること。

敷地の場所や大きさは自由だが、どういう環境にあるのか、周辺環境の説明は必須とする。

構造、階数などは自由とし、法規制についても、常識の範囲内でかまわない。

家族構成、所要室なども各自の提案にしたがって、それぞれ設定すること。

下記の内容を、A1用紙1枚にまとめること。紙質・表現・仕上げは自由だがパネル化はしないこと。

応募者の氏名などを提出図面に記入してはならない。

- 設計概要：設計および提案の主旨を600字程度にまとめる。提案内容にふさわしい作品タイトルをつけることが望ましい。
- 配置図兼1階平面図：配置図には周辺との関係、外構計画を表現する。縮尺1/50～1/100。
- その他の各階平面図：平面図には室名・寸法・家具などを記入する。室名などは、日本語表記のみでよい。縮尺1/50～1/100。
- 断面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 立面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 全体外観図：模型写真でも可。ただし、模型は受けつけない。
- その他：各自の提案内容を表現するために必要と思われる説明図、スケッチなどを描いて説明しても良い。

## 応募資格

2020年4月現在、高等学校在籍の生徒、高等専門学校に在籍する3年次生までの生徒とする。応募は個人とする。

## 応募案の取り扱い

- 応募作品は未発表の作品に限る。
- 本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属するが、応募作品の発表に関する権利は主催者が保有する。
- 応募作品は原則として返却しない。ただし、応募用紙に返却希望の記載がある作品については返却を行う。その場合、返却時期は主催者の判断によることとし、返送先は、応募時の宛先とする。

## 応募方法

- 必要事項を記入した応募用紙を封筒に入れ、提出物と一緒に郵送する。
- 締切日　2020年8月31日（月）　当日消印有効
- 提出先　〒101-8308　東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部建築学科教室事務室内

日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局

E-mail：nu.hs.competition@arch.cst.nihon-u.ac.jp　FAX：03-3293-8253

〈応募用紙のダウンロードはこちら　http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp/competition/application.pdf〉

## 賞

<b>審査員長</b>	野沢正光（建築家・野沢正光建築工房代表）	
<b>審査員</b>	井口雅登（理工学部建築学科）	廣石秀造（短期大学部建築・生活デザイン学科）
	泉山壘威（理工学部建築学科）	八藤後 猛（理工学部まちづくり工学科）
	川嶋 勝（短期大学部建築・生活デザイン学科）	山岸吉弘（工学部建築学科）
	栗原伸治（生物資源科学部生物環境工学科）	山田義文（工学部建築学科）
	佐藤信治（理工学部海洋建築工学科）	山本和清（理工学部海洋建築工学科）
	篠崎健一（生産工学部建築工学科）	渡辺 康（生産工学部建築工学科）

## 審査

<b>最優秀賞</b>	1点	賞状、賞品（図書カード10万円）、副賞15万円
<b>優秀賞</b>	5点	賞状、賞品（図書カード各3万円）、副賞各5万円
<b>佳作</b>	5点程度	賞状、賞品（図書カード各2万円）
<b>奨励賞</b>	10点程度	賞状、賞品（図書カード各1万円）
		（賞状、賞品は応募者本人に、副賞は奨励金として応募者が在籍する学校に贈呈する。なお、優秀賞以上6点については、公開発表会参加のため、本人と引率教員の交通費を支給する。）

## 審査

第1次審査は、審査会を開催し、優秀賞6点、佳作5点程度、奨励賞10点程度を選出する。第2次審査は、公開による発表会を開催する。第1次審査で選出された優秀賞6点の応募者による発表を行い、最優秀賞1点を選出する。発表を行う優秀賞受賞者には2020年9月19日（土）までに第1次審査結果を通知する予定。

## 発表

**■公開発表会（2次審査会）・表彰式・交流会**  
日時：2020年10月17日（土）　公開発表会は14時00分から  
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス　東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

## 発表

審査結果は、応募者の在籍する学校に直接通知する。電話などによる問い合わせには一切応じない。また、入賞作品をホームページに掲載するとともに、作品集を応募者の在籍する学校に郵送する。
https://www.facebook.com/nu.hs.competition

## 審査員

## ■日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会

<b>委員長</b>	羽入敏樹（短期大学部建築・生活デザイン学科）	
<b>委員</b>	井口雅登（理工学部建築学科）	二瓶士門（理工学部建築学科）
	石田 優（短期大学部建築・生活デザイン学科）	廣石秀造（短期大学部建築・生活デザイン学科）
	泉山壘威（理工学部建築学科）	堀切梨奈子（理工学部建築学科）
	井本佐保里（理工学部建築学科）	宮崎 渉（工学部建築学科）
	加藤千晶（理工学部建築学科）	矢代真己（短期大学部建築・生活デザイン学科）
	川嶋 勝（短期大学部建築・生活デザイン学科）	八藤後 猛（理工学部まちづくり工学科）
	北野幸樹（生産工学部建築工学科）	山岸吉弘（工学部建築学科）
	栗原伸治（生物資源科学部生物環境工学科）	山田義文（工学部建築学科）
	佐藤信治（理工学部海洋建築工学科）	山本和清（理工学部海洋建築工学科）
	佐藤慎也（理工学部建築学科）	渡辺 康（生産工学部建築工学科）
	篠崎健一（生産工学部建築工学科）	
<b>幹事校</b>	短期大学部建築・生活デザイン学科	